

平成30年11月 日

旭川市長 西 川 将 人 様

旭川市行財政改革推進委員会
会 長 川 邊 淳 子

旭川市公共施設等総合管理計画の推進について（答申案）

平成30年10月24日付け旭公マ第40号にて諮問のあった標記の件について、別紙
のとおり答申いたします。

1 答申に当たって

平成30年3月に策定された旭川市公共施設等総合管理計画第1期アクションプログラム本編のうち、「施設保有量の最適化」に関する具体的な取組内容を示す施設再編計画及び関連する地域集会施設の活用方針について、諮問を受けた。

本委員会においては、本編の「施設保有量の最適化」において、重点的に取り組む課題として位置付けているものを中心に、担当部局から説明を受け、多様な視点から議論し、意見の集約を行ったものである。

今後も少子高齢化及び人口減少の進行が見込まれ、公共施設を保有し続けることの困難性が高まる状況が予想されるため、まちづくりの可能性や行政サービスの変化などにも留意し、施設再編計画を含めた旭川市公共施設等総合管理計画を推進することを希望する。

2 意見

第1期アクションプログラム施設再編計画及び地域集会施設の活用方針（骨子）については概ね妥当である。

ただし、次の意見を付すものとする。

(1) 各施設類型における「現状を踏まえた施設保有の考え方及び機能の確保手法」

ア 文化施設について

集約化、広域連携等の取組とともに、文化振興や建物そのものに魅力が感じられるような視点や観光面での経済効果も意識し検討すること。

イ スポーツ施設について

民間事業者と競合するカムイスキーリンクスについては、広域観光の拠点として、旭川はもとより圏域全体の活力の向上に資するよう、積極的に情報発信を行い、関係機関と連携しながら事業展開に取り組むこと。

ウ 市内全域に機能を提供している集会施設について

公共建築物において、耐震性の確保について課題を持つものが多数ある中、集約化を進めるに当たっては、利用者のニーズや優先度を勘案しながら取り組むこと。

エ 主に地域に機能を提供している集会施設について

目的別の施設整備及び運用から、多様な利用目的に対応できるような方向性を持ち、個別事項を検討し、地域住民や利用関係団体を協議しながら進めること。

なお、個別検討に当たり、次の意見を参考にされたい。

- ・ 夏場と冬場の料金体系を設定するなど、維持管理に必要な経費の変化に柔軟に対応すること。
- ・ 公民館以外でも、生涯学習活動的な事業を行っている事業者が存在することから、営利事業の扱いについても考え方を統一すること。
- ・ 使用料の設定に当たり、受益者負担割合を50%に統一しているが、受

益者負担割合を100%に合わせるという考え方についても検討すること。

- ・ 地域内に集会施設として同じような施設があると言われても、利用者から見た場合、使いたい施設や想いもある。地域のものという意識もある中で、集会施設の見直しを統一的に進めるのではなく、それらも加味しながら検討すること。

オ 地域のうち、複数の町内会単位に機能を提供している集会施設について

公民館分館等は、利用状況や施設の老朽化から検討せざるを得ない方向性であり、地域住民や利用関係団体と協議しながら取り組むこと。

カ 庁舎等について

支所については、人口減少の進行のほか、証明書等電子化などの情報環境の変化により、必要性を含めて大きく影響を受けるものであり、それらの技術を想定した中で、庁舎等の在り方について議論がなされることが望ましいが、そのような状況には至っていない。

そのため、支所に関する当面の進め方として、まず、地域住民と、人口減少及び少子高齢化の進行による数十年先の地域の姿を共有し、その上で、理解が得られる方向性を提示しながら進めること。

また、支所・出張所の代替策の検討に当たっては、現行、関連サービスを来庁により提供していることから、それらとの公平性に留意すること。

(2) 目標値について

施設評価の結果を踏まえたものでは、更新費用の点から対応が困難になる状況が想定されるため、施設再編計画策定後、必要に応じて、目標値の設定の考え方を含めて見直しを検討すること。

その場所、各公共建築物について、年齢別人口による必要性の変化を考慮し、整備手法による市の歳入面での効果にも留意すること。

3 審議の経過

開催回	開催日	審議内容等
第1回	平成30年10月24日	・ 諮問 ・ 文化施設及びスポーツ施設について
第2回	平成30年10月29日	・ 集会施設について
第3回	平成30年11月1日	・ 庁舎等について（支所等の地域に機能を提供している施設） ・ 目標値の設定について
第4回	平成30年11月8日	・ 答申案について

旭川市行財政改革推進委員会名簿

(敬称略 五十音順)

秋 山 円	学生自主組織	はしっくす
浅 沼 大 樹	旭川大学	准教授
梅 津 雄 一	公募委員	
会 長 川 邊 淳 子	北海道教育大学旭川校	教授
篠 原 泰 則	公募委員	
廣 田 誠 一	北海道立総合研究機構建築研究本部企画調整部 企画課長 (臨時委員)	
増 田 寛 司	税理士	